

「5月になりました」(令和3年5月10日(月))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

**大**型連休中、けがや事故等もなく過ごすことができ、とても嬉しく思っております。各ご家庭でのお声がけ等に、深く感謝いたします。

5月1日(土)、午前10時27分頃、宮城県沖を震源とする最大震度5強(柴田町は震度4)の地震がありました。部活動で登校していた生徒は身を低くし、安全の確保に努め、けが等はありませんでした。校舎の被害もありませんでした。また、JRの踏切の状況など、通学路に関する情報を地域の方からいただき、生徒に伝えることができました。ありがとうございました。



季節感いっぱいの掲示物(2年生の廊下付近)

### **壮**行試合を行っています

宮城県独自の緊急事態宣言や政府によるまん延防止等重点措置に伴い、現在、対外試合が中止となるなど、活動が制限されています。そこで、教職員との試合を通して生徒を勇気づけ、中総体に向けてエールを送ることをねらいとして、壮行試合を行っています。

1回目の5月7日(金)に、男女ソフトテニス部と試合を行いました。生徒はユニホームを着用し、本番の雰囲気で行うことができました。試合後には、お互いに挨拶を交わし、最後に、教職員からエールを送りました。生徒が一段と実力を発揮することに結びつくことを願っています。



中総体を前に教職員チームと壮行試合を行いました。(上:試合中のコマ,下:試合後の挨拶と激励)

### **P**T A 議案書、ありがとうございました

P T A 総会の書面議決を受け、会員の皆様から、議案書の提出をいただきました。ありがとうございました。おかげさまで、会員の過半数の承認を得ることができました。寄せていただきました貴重なご意見を踏まえ、会員の皆様のご協力をいただきながら、令和3年度の事業等を進めてまいりたいと思います。

今後とも、よろしくお願いいたします。



付箋を活用し、学級目標についてクラスで話し合いをしている場面です。(4月の学級活動より)

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

瀬尾まいこ「あと少し、もう少し」(2015年、361ページ) この本は、中学校最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り、県大会出場を目指して練習に取り組み、本番の駅伝大会で6人が襷(たすき)をつないでいく物語です。駅伝の区間を走る順番に登場人物を設定し、駅伝に臨むまでのその人の気持ちと、今まさに走っているその区間で思っていること、感じていることを、襷とともにつないでいく構成になっています。文庫本の裏表紙には「寄せ集めの6人は県大会出場を目指して、襷をつなぐ。あと少し、もう少し、みんなと走りたい。涙が止まらない、傑作青春小説。」と紹介されています。まさにそのとおりで、襷をつなぐシーンでは、つなぐのが襷だけではないことに気づかされ、胸が熱くなりました。